

10歳からのニュース学習誌

平成11年6月25日 第三種郵便物認可
2010年(平成22年)7月15日発行
毎月1回15日発行 通巻135号

月刊

ニュースがわかる

家族で読める! 受験に役立つ!

NEWSがわかる

検 NEWS
時事能力検定

ニュース検定 入門編模擬問題を掲載

2010

定価 330円

7
月号

特集

宇宙開発に大きな役割はたす

スペースシャトルが引退へ

●夏の参院選に注目しよう

●パパも育児を楽しむ時代

●幕末ヒーロー、龍馬が人気

●普天間飛行場移設問題 迷走なぜ?

●ギリシャの財政危機が世界をゆるがす

●Newsファイル—鳩山首相が辞任



たかはま 高浜先生の 実験算数脳!!

今月の一題

Q 男の子5人が海で遭難し、無人島に流れ着きました。食べ物は長方形の板チョコ1枚しかありません。持ち物は「板の横幅より少し長いひも」「油性ペン」「クギ」が1本ずつ。この板チョコを、けんかにならないように5等分するにはどうすればよいでしょうか。



ポイント解説



このような状況設定問題は、「パズルのためのパズル」とは、やる気の引き出し方が違います。人は「必然性」や「生活がかかること」が見えた時、がぜん燃えます。どうすればいいかを必死に考えてアイデアを出すことが、脳に刺激を与え、思考力を鍛えるわけです。「思考力」は「見える力」と「詰める力」に分けられます。「見える力」とは図形の補助線がバツと見えるような力や、ひらめきが浮かぶ力です。「詰める力」とは論理的に考える力、さらに「絶対に自分の力で解きたい!」とこだわる意志の力です。試行錯誤の末に答えを導くことができた快感を一度経験した子には、考え抜いた末に思いつくことが本当に楽しいものになります。

今月の おすすめ! BOOK

■考える力がつく 算数脳パズルなぞペ〜①②③

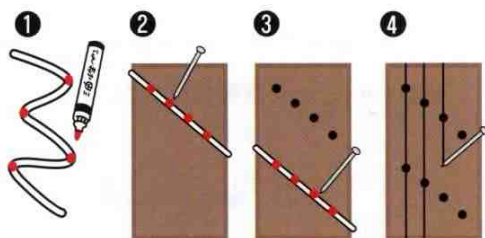
気軽に解ける思考力系の問題から、今回の板チョコを分ける問題まで、ワクワクさせられる出題を多数掲載。解くたびに考える力がつき、考えることが大好きになる。(草思社、各1,155円)



5人にプレゼント!

「算数脳パズルなぞペ〜②」のプレゼント希望者は、はがきに氏名、住所、年齢を書いて、〒100-8051 毎日新聞社 月刊「Newsがわかる」算数脳7月号プレゼント係あてに7月10日までに応募してください。応募多数の場合は抽選となります。

今月のこたえ



- A**
- ① ひもを5等分に折り、折り目のところに油性ペンで印をつけます。
 - ② ひもを端から端までピンと張って板チョコの左右に合わせ、ひもの印の上からクギをさして板チョコに印をつけます。
 - ③ 異なる位置でもう一度繰り返して板チョコに印をつけます。
 - ④ 板チョコの印をつなげば、5等分することができます。板チョコを5等分するには、平行線を引かなければいけません。つまり、ここにある道具だけで「平行線をどうやって引けばいいのか」と考えればいいのです。

高浜正伸プロフィール

1959年熊本県生まれ。東京大学卒・同大学院修了。93年「花まる学習会」、95年「スクールFC」設立、現在「花まるグループ」代表。98年算数オリンピック委員に就任。「小3までに育てたい 算数脳」(健康ジャーナル社)など著書多数。

高浜先生の情報はコチラ!

高浜先生の今後の無料講演会の日程や、高浜先生が運営する学習塾「花まる学習会」「スクールFC」の情報をご覧になることができます。
<http://www.hanamarugroup.jp/>

